

年間授業計画様式例

都立第一商業高等学校令和5年度 教科「理科」科目「生物基礎」 年間授業計画

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（高校生物基礎 新訂版（実教出版））

使用教材：（教科書、教科担当者作成のプリント、プロジェクター、スクリーン、実験器具等）

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数
4 月	オリエンテーション	1年間でどのようなことを学習するのか見通しをもたせる。また、授業のルール、評価方法等を理解させる。		1
	生物の特徴 1. 生物の多様性と共通性	地球上にはさまざまな環境に多種多様な生物が存在していることを認識させ、生物の共通性と多様性を理解させる。また、生物の共通性が共通の起源に由来することを理解させる。	主体的に学習に取り組む態度 （授業態度・振り返りプリント）	3

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数
5 月	2. 細胞とエネルギー  中間考査	細胞の構造とATPについて理解させる。 顕微鏡の操作方法を習得させる。	主体的に学習に取り組む態度 (授業態度・振り返りプリント)  知識・技能（実験操作・実験 プリント）  知識・技能（考査問題） 思考・判断・表現（考査問 題）	5
	2. 細胞とエネルギー	呼吸と光合成の概要、およびミトコンドリアと葉緑体の起源について理解させる。	主体的に学習に取り組む態度 (授業態度・振り返りプリン ト)	4

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数
6 月	遺伝子とその働き 1. 遺伝情報とDNA	DNAが自分に深く関わっているものであると認識させる。 ゲノムとは何か、DNAとは何かを理解させる。 DNAの構造を理解させる。  DNAの抽出実験を行い、すべての生物がDNAをもっていることを体感させる。	主体的に学習に取り組む態度 （授業態度・振り返りプリント）  思考・判断・表現（作成したDNA模型）  知識・技能（実験操作・実験プリント）	6
	2. 遺伝情報の分配	細胞分裂の周期性を理解させる。	主体的に学習に取り組む態度 （授業態度・振り返りプリント）	2

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数
7 月	期末考査  3. 遺伝情報とタンパク質の合成	タンパク質とは何かを理解させる。	知識・技能（考査問題） 思考・判断・表現（考査問題）  主体的に学習に取り組む態度 （授業態度・振り返りプリント）	2

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数
9 月	3. 遺伝情報とタンパク質の合成	遺伝子発現のしくみを理解させる。	主体的に学習に取り組む態度 （授業態度・振り返りプリント）  知識・技能（実験操作・実験 プリント）	6
	体内環境とその維持 1. 体内環境	体内環境が一定に保たれることの大切さと、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを実感させる。	主体的に学習に取り組む態度 （授業態度・振り返りプリント）	9

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数
10 月	<p>1. 体内環境</p> <p>中間考査</p> <p>2. 体内環境の維持のしくみ</p>	<p>体内環境の維持に重要な役割を果たす臓器等について理解させる。</p> <p>自律神経系の働きについて理解させる。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度 （授業態度・振り返りプリント）</p> <p>知識・技能（考査問題） 思考・判断・表現（考査問題）</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 （授業態度・振り返りプリント）</p>	9

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数
10	2. 体内環境の維持のしくみ	ホルモンの働きについて理解させる。	主体的に学習に取り組む態度 （授業態度・振り返りプリント）	6
11 月	3. 免疫	生体には異物を排除する防御機構が備わっていることを理解させる。	主体的に学習に取り組む態度 （授業態度・振り返りプリント）  思考・判断・表現（作成した紙芝居）	

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数
12 月	期末考査  生物の多様性と生態系 1. 植生と遷移	植生と、植生の遷移について理解させる。	知識・技能（考査問題） 思考・判断・表現（考査問 題）  主体的に学習に取り組む態度 （授業態度・振り返りプリン ト）	3

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数
1 月	2. 気候とバイオーム	気温と降水量の違いなどによって、世界には様々なバイオームが存在することを理解させる。	主体的に学習に取り組む態度 (授業態度・振り返りプリント)	3
	3. 生態系と物質循環	生物の種多様性と生物間の関係性を関連付けて理解させる。	主体的に学習に取り組む態度 (授業態度・振り返りプリント)	5
	4. 生態系のバランスと保全	生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解させるとともに、生態系の保全の重要性を認識させる。	主体的に学習に取り組む態度 (授業態度・振り返りプリント)  思考・判断・表現（作成したポスター）	6

2月	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数

3月	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点（方法）	配当 時数